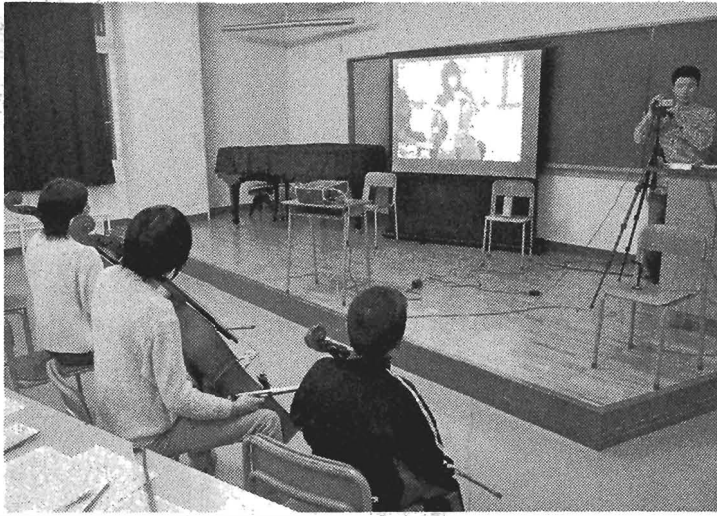


東京—中札内 ネットでつなぎ…

チェロレッスン生中継

全国初



画面に映る山岸さんの指導で、チェロのレッスンに励む受講生

【中札内】村教委主催の村民カルテック公募企画講座「チェロ講座」で15日、会場の中札内交流の杜（もり）音楽室と、指導者がいる国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）をインターネットでつないだレッスンが試行された。画面に映し出された講師から、村内の受講生がチェロの構え方など基本的なアドバイスを受けた。支援したNEC（本社東京）などによると、遠隔地を生中継でつないだチェロレッスンは全国で初めて。

昭和音大研究員が指導

村内では2004年からアツ事業などを展開するNPO「アップビート春期国際音楽セミナー」が開かれ、チェロ講座も「公二代表」の協働事業「NE同セミナー実行委員会（委員長・三谷温昭和音楽大准教授）のバックアップを受けて実現した。この日は受講生6人が参加。東京にいる講師の山岸彩は、NECと、障害者スポー

子昭和音楽大合奏研究員がモバイルライブ中継で映し出される中、チェロの扱い方や構え方、安定した音の出し方など基礎レッスンを臨んだ。STANDの関係者が全体の練習風景や手元の動き、音などを撮影し、山岸さんからアドバイスを受けた。

参加者からは「インターネットで指導を受けられるとは「分かりやすく楽しかった」などの感想が出た。協力した村教委は「この講座を生徒学習のきっかけとし、演奏する楽しさを味わってほしい」としている。

チェロ講座は11月下旬に開講。来年2月まで月3回ほど開かれ、うち1回は遠隔レッスンとなる。芽室高教諭の佐藤祐一さんと帯広交響楽団コシノサトマスタートの牧野貴博さんが交代で直接指導し、3月の同セミナーで「キラキラ星」を発表することを目標としている。（菊池宗矩）

2009年(平成21年)12月18日(金曜日)